

横浜市会議員

長谷川 えつこ

はせがわ えつこ Profile

経歴：
日本大学 経済学部 卒業
野村証券株式会社
フルテニシャル生命保険
株式会社 E-link 代表取締役
資格：
宅地建物取引士、秘書検定
証券外務員2級、1級小型船舶免許
家族構成：
夫(会社員)
息子(中学生・バスケット)
娘(小学生・スイミング)
犬(柴犬)、猫(ノラ猫)
趣味：
ゴルフ、ZUMBA、サルス、
バレエホール部(高校時代)
特技：お弁当作り



【令和2年 第4回定例会が開催中(11/27~12/17)です】

前回の第3回定例会では、令和元年度決算特別委員会にて水道局、消防局で下記の内容の質問をいたしました。

水道局

1. 水道料金改定
2. 財源確保
3. 水道水の水質管理
4. 道志水源林ボランティア事業
5. 国際事業の取組
6. 水道技術職の採用確保・人材育成



消防局

1. 令和元年決算総括
2. 住宅防火対策
3. コロナ禍における
横浜市民防災センターの対応
4. 子どもの防災教育
5. 指令管制員教育体制の充実強化
6. 救命救急士教育体制の充実強化

【水道料金改定の要因である、施設設備への財源確保の効果について質問】



施設整備(老朽化した水道管の更新)をすることは、漏水破裂件数が大幅に減り安定的な給水の確保へと繋がります。漏洩破裂件数を比較しても昭和40年代(更新開始時) 約 3 万件/年
令和元年末 約 1.7千件/年
と大幅に減りました。また、管路の耐震化は平成8年より口径管路について耐震管で更新を行い、令和元年末の総排水管の耐震化率は、大口径管で51%全体で28%と、耐震性も増しました。

料金体系についても見直しを行うこととしており、その中でも特に気になったのが、基本水量についてでした。

現行の料金体系では一律790円とされている基本料金に基本水量として8立方メートル分の料金が含まれております。8立方メートルまでは水の使用量にかかわらず、料金は変わりません。少ない使用量の方々にとってみれば使用していないのに同じ料金なのは疑問視されるところです。

現在、検討中の料金改定において、この基本水量については廃止するとの方向性が水道局から示されています。今後は、不公平感をなくすため基本水量を廃止し、基本料金と使用した分だけ支払う従量料金とし、わかりやすい料金体系の方向で進めていきます。

水道施設の更新や耐震化を進めていく必要性は重要で、料金改定にあたっては、市民の皆さまの納得できるものとし、わかりやすく周知していただくようお願いいたしました。